

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成31年度～平成35年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>おおいたほくぶ</small> 大分北部森林計画区 （大分県）	事業実施主体	九州森林管理局 大分西部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、大分県の北部に位置する、別府市、杵築市、豊後高田市、宇佐市、中津市、日出町に所在する国有林野6,441haを対象としている。</p> <p>本計画区の森林の現況は、人工林を主体とした育成林が3,728ha（育成単層林3,603ha、育成複層林125ha）、天然生林が2,475haとなっており、主な樹種として針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではクヌギ、ナラ類、カエデ類などとなっている。また、林相別に見ると針葉樹林が2,832ha、針広混交林が1,045ha、広葉樹林が2,326haとなっている。</p> <p>本計画区は、山国川、大分川及び<small>やつかん</small>駅館川等の源流部に位置し、水源かん養保安林が71%以上で、下流部の中津市及び宇佐市等の水がめとして重要な役割を担っており、良質で豊かな水の供給に係る機能の発揮を目的とする水源涵養タイプの森林は、4,253haとなっている。</p> <p>また、別府市などでは、地盤がもろく雨水に侵食されやすい地質等であることから、土砂の流出・崩壊等山地災害の防止を目的とする山地災害防止タイプの森林が、933haとなっており、山地災害の防止等に重要な役割を担っている。</p> <p>さらに、本計画区では、木材の持続的・計画的な供給に努めることとしており、国東市、中津市等において5年間で29万^mの木材生産を計画するなど、地域の林業・木材産業の活性化にも貢献することとしている。</p> <p>なお、本計画区には、阿蘇くじゅう国立公園など、自然公園やレクリエーションの森等があり、森林レクリエーションや保健休養の場として、保健・文化・教育的利用等に供されている。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能、山地災害防止機能、地球温暖化防止や保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給及び地域の活性化にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業や間伐等保育作業の森林整備を積極的に推進するとともに、必要な路網の開設・改良等を実施する。</p> <p>これまでの評価結果等を踏まえ、事業の実施に当たっては、効果的かつ効率的な実施に努め、国土の保全、自然環境の保全等に十分配慮しつつ、林業の低コスト化に向けた取り組みとして、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた高効率・低コストな作業システムの定着や下刈りの回数を減らす等の低コスト造林の導入・定着を図ることとする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>198ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,481ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>16.1km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>5.7km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,496,404千円（税抜き 2,311,485千円）</p>			森林整備	更新面積	198ha		保育面積	2,481ha	路網整備	開設延長	16.1km		改良延長	5.7km
森林整備	更新面積	198ha													
	保育面積	2,481ha													
路網整備	開設延長	16.1km													
	改良延長	5.7km													
費用便益分析	<p>総便益（B） 7,204,354（千円）</p> <p>総費用（C） 2,644,394（千円）</p> <p>分析結果（B/C） 2.72</p>														
森林管理局事業評価	費用便益分析結果、森林・林業情勢その他社会経済情勢の変化、また、森														

技術検討会の意見	林整備を行うことで公益的機能の発揮と木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されていることから、事業の実施が妥当であると認める。
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、水源涵養、山地保全及び自然環境の維持等の公益的機能の持続的な発揮に資する事業であり、これら地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用便益分析の結果に加え、列状間伐や高性能林業機械を組み合わせるなど、従来の施業方法を見直し、生産性の向上に努めるとともに、下刈の回数削減等、保育事業の低コスト化を進める等、現地に応じた最も効果的な工種・工法を採用することとしていることから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な路網と森林整備の実施により、森林の有する機能が十分に発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれるため、有効な事業と認められる。 <p>新規事業採択にあたっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されているものと認められる。</p>

注) 国有林野においては、公益機能の維持増進を旨とした管理経営を行うため、「山地災害防止タイプ（土砂流出・崩壊防備エリア、気象害防備エリア）」「自然維持タイプ」「森林空間利用タイプ」「快適環境形成タイプ」「水源涵養タイプ」の機能類型区分を行い、各機能の発揮を目的とした管理経営を行っている。

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業
施行箇所：大分北部森林計画区

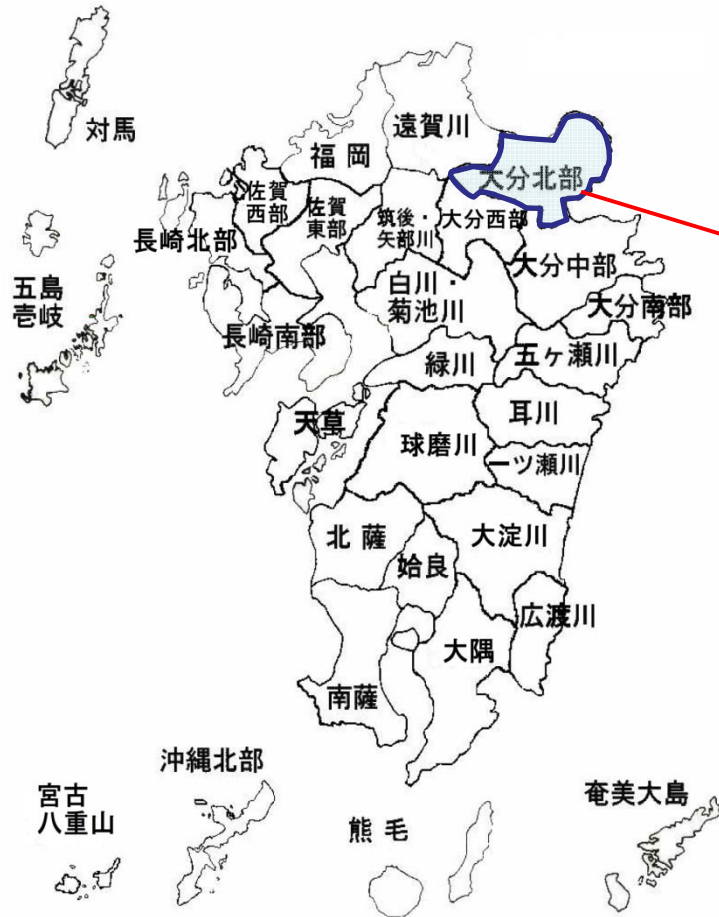
都道府県名：大分県
(単位:千円)



大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,813,161	
	流域貯水便益	524,234	
	水質浄化便益	1,234,459	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,454,823	
環境保全便益	炭素固定便益	665,279	
木材生産等便益	木材利用増進便益	172,909	
	木材生産確保・増進便益	738,186	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	601,303	
総 便 益 (B)		7,204,354	
総 費 用 (C)		2,644,394	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{7,204,354}{2,644,394}$		= 2.72

森林環境保全整備事業 大分北部森林計画区(大分県)事業概要図

大分北部森林計画区

(大分西部森林管理署管内)



凡例	
	評価区域
	国有林